

1学期終業式(7/21)校長講話より

天龍村ならではの活動で 天龍力をつける



何を感じ
何を学び
何を身につけ



何を伝えていくのか
自分にとっての
天龍力
とは



森林レボ 製作活動



ハンガーPro 五輪ラシル選手団へ



探究的な ふるさと学習



自分なりの 主体的家庭学習

チャレンジ(Try&Error)を繰り返して

先生方もチャレンジ(Try&Error)しています



天龍村を探究する



授業をもっとよくしよう



ICTの効果的活用 など

東京五輪

2026の国と地域1万1092人の参加

コロナ禍だけど… コロナ禍だから…
やるやらないと様々な意見の多い中
いろいろな思いを持って参加する選手
大会を支えるスタッフやボランティア
がんばっている人たちを応援したいのです



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES



…天龍中学校ならではの伝統的な活動を継続しつつ、新しい学びのあり方もチャレンジしてきました。皆さんは、今までずっと続いてきているこの天龍村でしかできない梅花プロジェクトや森林レボリユーションの体験活動を通して 何を感じ、何を学び、何を身につけ、何を伝えていくのでしょうか。そして、このような学びを通じて「自分にとっての天龍力」をつけていくこととなります。皆さんにとって天龍力とはどんな力ですか？

簡単に答えは出せないと思いますが、自分にとっての天龍力とはどんな力なのか考えながら学び続けてほしいと思います。

森林レボリユーションでは昨年製材したびわの木で素敵なマイスプーンを製作しました。また、手作りハンガーが浜松市にきているオリンピックブラジル選手団にメッセージとともに届けてきました。これらの活動も先輩方から引き継ぎ着々と歩みを進めています。

タブレットを活用したICT学習もチャレンジしてきています。友達の学びがタブレットの画面上で共有でき、対話的な学びが深まっていく授業を先生方と一緒につくっていきましょう。

ひとりひとりがふるさとについて自分の「問い」を持って、試行錯誤しながら自分なりの答えを探っていく「ふるさと学習」も今年から始まりました。自分なりに調査したり、体験したりして見つけ出した答えを天龍村や村長さんに発信することができるように先生とともに追究しましょう。

さらに、家庭学習も先生から与えられた課題ではなく、自分に必要な学習を自分の計画で自分に合った家庭学習となるように進めています。

これらの新しいことは失敗もあるし、うまくいかないこともあります。仲間や先生と相談しながらよりよい方向を見つけていきましょう。それがトライ&エラーのチャレンジです。

…皆さんががんばってきているのと同じように、先生方もチャレンジしてきています。

生徒の皆さんがひとりになって探究したり、自分を向上したり、課題を解決したりできる力をつけられるように、また、ひとつになって仲間と学びあったり深め合ったりできるように、他の学校の先生方で学び合ったり生徒の皆さんと一緒に学んできたりしています。

夏休み中も先生方はいろいろな場で皆さんの力がつく授業ができるようにと研修がたくさんあります。…

コロナ禍の様々な思いのある中、1年延期された東京オリンピックが開幕しようとしています。コロナ禍で苦しんでいる人たちがいるこんな状況の中で実施してよいのだろうか。また、この大会に向けて今まで必死でがんばってきた選手や関係者の皆さんの思いはどんなだろうか。いろいろな意見や思いがあります。コロナと戦っている皆さんにも応援をすると同時に、競技スポーツとしてのオリンピックの大会へ参加する選手や関係者の皆さんを純粋に応援したいと思っています。このオリンピックはいろいろな意味で本当に特別な大会になると思います。いろいろな立場や思いを感じながら関心を持って応援することが、これから生きる私たちの学びになると思います。…

2学期始業式(8/23)校長講話より



ピクトグラムが広まったのは、1964年東京オリンピックでした。英語によるコミュニケーションが難しい当時の日本で、外国人とコミュニケーションをとるために使われ始めました。外国人観光客が迷わないための案内表示は、1964年五輪でも大きな課題となったようです。

ピクトグラム



私が学んだこと

- ▶ 誰かのために自分ができていることを考えて一生懸命生きることが、誰かのためにつながっていくんだらう
- ▶ 自分で自分の気持ちを動かすことで先が変わっていくことが絶対にあるどんな人も気持ちを動かしてもらって楽しくなって、人生が豊かになってくれたらものすごくいいなと思います

学習の自立を目指しましょう

▶ 授業は先生から教えてもらう時間ではなく、自立して学ぶ時間にするのが大切です。先生には自分なりの学び方を身につけるお手伝いをしてもらいます



▶ 自分自身でPDCAを確立して自分なりの学び方を身につける

P(計画Plan)→D(実行Do)→
C(振り返りCheck)→A(改善Action)
のサイクル(繰り返し)

毎時間目的を持って 自己評価し
より良い学び方を身につけていきましょう

…私が今回の東京2020オリンピックで学んだことはたくさんありました。

その中の一つが、パントマイムパフォーマー「が~まるちょば」のHIRO-PONさんと、一緒に舞台に立った“弟子”の「GABEZ」MASAさんと hitoshiさんの開会式のピクトグラムのパフォーマンスについてのインタビューコメントです。

5分間のうちに50競技全てのピクトグラムをどう工夫して表現して楽しませるか非常に苦勞したそうです。さらにコロナ禍のオリンピックという様々な考えの方がいる中でどんな思いで表現したのかというお話の中で

「誰かのために自分ができていることを考えて一生懸命生きることが、誰かのためにつながっていくんだらう。」

「自分で自分の気持ちを動かすことで先が変わっていくことが絶対にある。どんな人も気持ちを動かしてもらって楽しくなって、人生が豊かになってくれたらものすごくいいなと思います。」

という言葉が重く感じられました。…

コロナ禍・毎年のように予想を超えた災害・アフガン情勢など今の先の見えない世の中、予測不可能な社会を生き抜いていくためには、私たちは今何を学び何を身につけていったらよいと思いますか？

これからの学習は「何を知っているか」ではなく、「なにができるようになるか」が大切です。授業は先生から教えてもらう時間ではなく、自立して学ぶ時間にするのが大切です。先生には自分なりの学び方を身につけるお手伝いをしてもらいます

学習の自立を目指しましょう。そのために自分自身でPDCAを確立して自分なりの学び方を身につける事が大切です。PDCAとは自分の学びをP(計画Plan)→D(実行Do)→C(振り返りCheck)→A(改善Action)これを繰り返すことが自分の学びを高めていくことにつながります。毎時間目的を持って自己評価しより良い学び方を身につけていきましょう

自分で考え、自分で判断し、自分で行動するために自己評価力(自分で自分の学び方を振り返って評価する力)をつけることが自分の学びを高めるために大切になります。

自己評価というのは、例えば、

自分なりの問いを持たたか

自分の考えを根拠を持って持てたか

友達の考えを聞いて自分の考えを深められたかどうか

今までの知識や技能を活用して新しい発見があったか

新しい解決の仕方や技能技術を身につけることができたか などを自分で評価します。

そして、さらにどんな問いが生まれたか 次の時間にどうしたいかつなげていきます。

これが学びのPDCAです。…

皆さん一人一人が実りのある充実した2学期になるよう期待しています。